

審議会等の会議録			
会議の名称	第2回座間市総合都市交通計画見直し検討委員会		
開催日時	令和元年11月6日(水) 13時55分～16時00分		
開催場所	座間市役所4階 4-3会議室		
出席者	(出席) 梶田委員、上田委員、仲手川委員、山下委員、岡崎委員、三森委員、宮島委員、高瀬委員、菊池委員、片野委員、北川委員、野口委員		
事務局	北川都市部長 浅黄参事兼都市計画課長 原都市計画係長 大矢技師 小玉主事 委託業者(株式会社国際開発コンサルタント 関、三瓶)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴人数	なし
非公開・一部公開した理由	_____		
議題	<p>審議事項</p> <p>【改定】座間市総合都市交通計画(素案)について</p> <p>1.都市交通施策の進捗状況の整理について</p> <p>2.都市交通施策の見直しについて</p> <p>3.長期展望に基づく望ましい将来都市交通像について</p>		
資料の名称	資料1～4 ほか参考資料		
会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等	<p>事務局 定刻より少し早めではございますが、出席予定者の皆様全員お集まりですので、ただ今から座間市総合都市交通計画見直し検討委員会を開催させていただきます。</p> <p>まず、はじめに、都市部長の北川から挨拶させていただきます。</p> <p>(都市部長あいさつ)</p> <p>事務局 ありがとうございます。次に委嘱状の交付に移ります。今回、座間警察署の人事異動に伴い、現在の交通課長岡崎友弘様に前任者様より、引継ぎいただき、委員をご快諾していただきましたので、委嘱状を交付させていただきますと思います。本日、市長は、所要により、代理で北川都市部長より交付させていただきます。</p> <p>(委嘱状の送付)</p> <p>事務局 ここで、本日の出席状況を報告させていただきます。本日の出席は委員12名中12名の出席を頂き、定足数に達しておりますので、「座間市総合都市交通計画見直し検討委員会の設置及び運営に関する要綱 第5条 第2項」により、本日の会議は成立とさせていただきます。</p> <p>なお、本日の傍聴人はおりません。</p> <p>次に事務局のメンバーを紹介させていただきます。</p>		

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>(事務局の紹介)</p> <p>事務局 配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料確認)</p> <p>事務局 それではこれより、本日の議題に移りたいと思いますが、最初に梶田会長から、挨拶を頂きたいと思います。</p> <p>(梶田会長あいさつ)</p> <p>事務局 ありがとうございました。それでは以降の議事進行につきましては、要綱第5条第1項に基づき、議長を梶田会長にお願い致します。梶田会長、よろしくお願い致します。</p> <p>議長 それでは、これより議題に入ります。議題：【改定】座間市総合都市交通計画（素案）について 1) 都市交通施策の進捗状況の整理について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明)</p> <p>概要：都市交通施策の進捗状況の整理について</p> <p>① 【改定】座間市総合都市交通計画（素案）の構成</p> <p>② 都市交通施策の進捗状況の整理</p> <p>議長 ただ今、事務局から説明がありましたことについて、ご意見、質問等ありますでしょうか。</p> <p>委員 修正内容で、P.90 の JR 相模線の複線化等の促進について、協議会を立ち上げているため実施中となっておりますが、どういった協議会が立ち上がっているか教えていただきたいです。</p> <p>事務局 同盟会を立ち上げているため、実施中と判断しています。</p> <p>委員 同盟会には鉄道事業者が入っておらず、協議会という位置づけではなく、複線化の要望という位置づけであるため、そこは明確にしていきたいと思います。</p> <p>また、4段階評価に変えていただいて、わかりやすくなりましたが、「未実施」が混在しているように思います。「未計画」という表記のほうがメリハリがつくのではないかと思います。</p> <p>事務局 協議会等の表記は明確にします。また、未実施という表記については検討致します。</p> <p>委員 P.87 の評価で「今後も事業主体である神奈川県と調整を行いながら、都市計画道路の整備促進は実施予定です。」とありますが、施策メニュー</p>
-------------------------------	---

<p>会議の内容</p> <p>※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>1 から 5 すべてに関わってくるのでしょうか。</p> <p>事務局 神奈川県と協議する部分と国道 246 号バイパスなどの国と協議していかなければいけない部分もありますので、道路名と協議先を詳細に明記した上で訂正します。</p> <p>委員 P.88 の相模原二ツ塚線の整備促進について、事業認可がおりていますが、どの区間が県でどの区間が市なのか明記してほしいと思います。</p> <p>事務局 認可を受けている区間受けていない区間を詳細に明記した上で訂正します。</p> <p>委員 P.87 の 3 番の（都）座間大和線の改良促進（広野大塚線との合流部）で、小松原交差点の改良事業を実施とありますが、評価は実施済みになるのではないのでしょうか。</p> <p>事務局 小松原交差点の十字改良は済んでおりますので、実施済みとなります。</p> <p>委員 P.88 の（都）相模原座間線の整備促進とあるが、どの区間が整備済みになっているのか教えてほしいです。県としては相模原市との境で実施しているところはございますが。</p> <p>事務局 再度確認の上、記載します。</p> <p>委員 P.103 の図面について、凡例とあっていないものがあるため修正していただきたいです。</p> <p>事務局 確認の上、訂正いたします。</p> <p>議長 ほかに何かお気づきの点があれば、ご指摘いただきたいと思います。続きまして、議題 2)「都市交通施策の見直しについて」事務局より説明をお願いします。</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;"> <p>（事務局説明）</p> <p>概要：都市交通施策の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 各施策の実施時期の再整理 ② 各施策の目標値 </div> <p>議長 ただ今、事務局から説明がありましたことについて、ご意見、質問等ありますでしょうか。</p> <p>委員 P.122 の歩行空間の整備の施策の方向性で、「歩行空間を阻害し、通行の障害となっている」とありますが、歩道のところに当時できたころには心を和ませるといって有効だったと思いますが、花壇の跡や樹木が立っているところがあります。例えば日産の横は花壇があり、そのため歩道が狭くなっています。管理しているところはどこで、今後どうす</p>
----------------------------------	--

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>ることを考えているか教えていただきたいと思います。</p> <p>委員 管理しているのは道路課です。ご指摘の通り、当時は良かれと思いい緑を作っていますが、自転車や車椅子が行き交いできないというご意見をいただいているところもあります。ただ、このことについてはご意見が分かれており、緑を残してほしいという意見もあります。残すのであれば歩道を拡幅したらいいのではないかと、もう少し用地を買収して広くすればいいのではないかとご意見もありますが、実際は難しいところがあります。今後市民のご意見をいただき、残すところは残し、とってしまうところはとってしまうというような区分けをしていかなければいけないと考えております。</p> <p>議長 管理は道路課で、市民が管理しているところもあるのでしょうか。</p> <p>委員 市民のご協力をいただいて管理しているところもあります。</p> <p>委員 自治会で年間を通して全然花を植えられないという意見があります。秋になると草木が歩道にはみ出して、そのままになっている状態が続いている状況があります。このままでは植栽はない方がいいのではないかとご意見もありますので、私の意見としては、歩道を広くするために植栽はなくてもいいのではないかとご思います。歩道ではないところで緑を確保することができると思います。</p> <p>議長 数値はどのように設定しているのでしょうか。</p> <p>事務局 設定している数値については、過年度のアンケート結果の増加率や他の計画の目標値等の増加率などを割戻して算出して設定しています。</p> <p>委員 P.113 の小田急線の連続立体交差化に関する検討を踏まえた計画促進とありますが、事業主体はどなたを想定して考えているのでしょうか。</p> <p>事務局 事業主体の想定まで至っておりません。かつて、連続立体について、他市と構想を考えた時期もありましたが、今後協議会のメンバーを誰にするのかということも踏まえまして、考えていきたいと思っています。</p> <p>委員 平成 26 年 12 月に座間市から連続立体交差事業の協議依頼がありましたが、それは取り消されるということでしょうか。</p> <p>市の上位方針に連続立体交差が位置付けられていると、例えば座間駅の駅のリニューアルやエスカレーターを設置をしようとしても、連続立体交差が控えているため、投資が抑制され、駅のリニューアルが出来ず、駅が廃れていきます。駅が廃れていくと街が廃れていき、街が廃れていくとお互いが不幸な連鎖になります。現実不可能な計画であれば、計画書に位置付けない方がいいのではないかとご思います。見直しの機会のため、事業主体が決まっていないという状況であれば、計画に載せるかについて議論したいと思いいます。</p>
-------------------------------	--

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>事務局 市としては超長期的な要望として、連続立体を進めたいというような考えは現在も持っています。ただ、超長期的な考えとなりますので、その部分を踏まえて、計画書の表記の仕方については、検討したいと思います。</p> <p>委員 先ほども申し上げたように、平成 26 年に座間市から連続立体交差事業の協議依頼がありましたので、座間市内の駅への投資は行えないような状況になっています。もし計画が構想や計画がわからず、事業主体が決まっていなると、先へは進まないと思います。計画に連続立体交差について記載しますと、いつまでたっても座間駅に投資できない状況になりますので、一度計画を見直したほうが良いと思います。</p> <p>議長 連立は連続で検討しているのでしょうか。</p> <p>事務局 小田急線は本市の中央部を縦断しており、南北の交通を考えると、渋滞が発生しやすい状況であることは確かです。その状況を踏まえると、連続立体が一番望ましいことだと思いますが、いつまでに事業化するという具体的なことは決まっていなのが現状です。</p> <p>委員 もしやるのであれば、目標値で 10 年後の協議会等を設立し、検討を進めるとありますが、これでは前に進んでいかないと思います。</p> <p>事務局 計画書の表記を含め、今後庁内で検討致します。</p> <p>委員 都市計画道路座間南林間線の線形が平面交差から単独交差（アンダーパス）に変更されたと思いますが、それでも連続立体交差を検討されるのか、合わせて検討していただきたいと思います。鉄道事業者としても踏切をなくしたいと思っていますが、座間市から協議依頼があった時から全く動きがない状態なので、市として本当に連続立体を検討していくのであれば計画に記載してよいと思いますが、いつまでたってもわからないようでしたら、記載の仕方を検討しなおしたほうが良いと思います。</p> <p>議長 貴重なご意見ありがとうございます。いい機会だと思いますので、事務局も検討していただきたいと思います。</p> <p>委員 P.115 の駅前広場の整備でバス、タクシー、送迎者の乗降場の整備促進とありますが、具体的な駅名を想定しているようであれば、教えていただきたいと思います。</p> <p>事務局 P.116 に書かれております、相武台前駅南口の周辺で交通結節点ということで交通広場の整備をすべく、事業化が進んでいるところです。</p> <p>委員 P.123 の自転車利用環境の整備で自転車駐輪場の整備推進について、昨今、入谷駅についても自転車放置も多くみられているため、無人駅で利用者を管理できていないところもありますが、入谷駅においても駐輪場の整備を検討していただければと思います。</p>
-------------------------------	--

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>P.114 の JR 相模原線の複線化等の促進の現況値について、「協議等を設立し、検討を進める」とありますが、同盟会と協議会は別物であることをご理解いただいて、表記の仕方を工夫していただきたいです。</p> <p>事務局 表記方法について、再度検討いたします。</p> <p>委員 目標値で、市民満足度を上げていますが、目標値に向けての整備箇所や計画はあるのでしょうか。</p> <p>事務局 第 4 次座間市総合計画実施計画の中で、具体的な整備箇所等は記載しておりますので、それを整備したうえで、総合計画を策定時に行いますアンケート結果をもとに評価をします。整備については実施計画で位置付けているものを実施していくこととしています。</p> <p>議長 今までのトレンドで、ある程度整備すれば満足度はあがるとしているとのことです。</p> <p>委員 P.119 の路線バスのノンステップバスの導入促進について、「座間市内を走行する路線バスについて、車両更新時にノンステップバスの導入を求めていきます」とありますが、国土交通省の「移動等円滑化促進方針・基本方針」に定められています、2020 年度までに保有する車両の 70% をノンステップバスにするという方針がありますが、あくまでも努力義務ということではありますが、走行する車両の 70% をノンステップ化は難しいのが現状です。それぞれの所有する台数のノンステップ化なので、過疎路線もありますので、座間市内に走らせている路線バスの車両 70% をノンステップ化にするのは厳しいという状況はご理解いただきたいと思います。</p> <p>議長 P.125 の交通安全対策についてはいかがでしょうか。</p> <p>委員 座間警察と連携して小学校や幼稚園を中心に様々なことをやっていますが、雨の日においても教室内でできることをやっています。ヘルメットの購入を促進しています。10 月から自転車保険の加入を促している状況ではあります。</p> <p>委員 話は変わりますが、コミュニティバスのバス停は変更や追加はできるのでしょうか。バス停が遠いという声を聞いたことがあります。</p> <p>委員 バス停は安全性の観点からむやみには置けず、交通管理者との協議が必要になります。また、交差点から 30m 以内には設置できないなどの規制があるため、現場をみさせていただいた中で、検討したいと思います。</p> <p>委員 免許返納によって、バスを利用したい人が増えてきていると思います。</p> <p>委員 具体的なバス停はどこでしょうか。事務局に申し出ていただいたらどうかと思います。</p> <p>委員 バス停の移設は考えていただけるのでしょうか。</p>
-------------------------------	--

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>事務局 簡単にバス停を移設することはできず、規制が多くあることやバス停の間隔についても考えなければいけません。地域公共交通会議を設けて、協議を行ったうえで、国土交通省の認可をとるという流れでバス停を設置しておりますので、皆様の声をすぐには対応できるものではない状況です。後程、具体的なバス停の位置を教えてください、今後見直しをする際には検討していきたいと思えます。</p> <p>委員 ハードな対策は実施していく予定であると思えますが、安全教育などのソフトな対策も検討していただければと思えます。</p> <p>議長 ほかにいかがでしょうか。ほかに何かお気づきの点があれば、ご指摘いただきたいと思います。続きまして、議題 3)「長期展望に基づく望ましい将来都市交通像について」事務局より説明をお願いします。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(事務局説明)</p> <p>概要：長期展望に基づく望ましい将来都市交通像について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 社会情勢の変化等 ② 座間市における望ましい将来都市交通イメージ </div> <p>議長 ただ今、事務局から説明がありましたことについて、ご意見、質問等ありますでしょうか。</p> <p>委員 ここまで話し合ってきた内容とかけ離れた近未来的な話な気がするため、8章のつながりがもてないと思うのですが。</p> <p>事務局 8章については、将来の夢を語っている部分ではありますので、今最先端で国が検討している内容を網羅するように記載しております。ただ、ここに至るまでの過程としては、今後の10年、20年計画があったうえで、将来ここに至っていききたいという表現になっています。今考えられる交通施策を網羅している状況であります。</p> <p>議長 こういった技術が出てきつつあるため、こういった表現をするかは検討していただきたいと思います。社会実験として自動運転は動いておりますか。</p> <p>委員 担当セクションはありますが、なかなか事業者だけの問題ではないので、様々な分野が協力してやっついていかないと前には進まない状況です。国土交通省が実施している社会実験。2021年にはレベル4の完全に自動化に向けた指針がありますが、個人的には厳しいと思えます。しかし、将来的には実現すると思えます。昨今乗務員不足等が問題となっているため、自動運転化は進んでいくべきだと思えますし、過疎地で自動運転を進めていくべきだと思えますが、狭隘な道路であったり、勾配があ</p>
-------------------------------	---

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>ったりと運行が厳しいところがあり、広い道路での運行が必要になるとい矛盾にはなりますが、今後解消されて様々なところで運行すると思 います。しかしそこまでの過程がなかなか難しい状況だと思 います。</p> <p>委員 観光型 MaaS を導入していますが、MaaS 自体がわかっていない状況 ではあります。</p> <p>議長 言葉が先行しているところがあります。こういった技術があるという ことです。他にも技術等があれば情報をご提供いただきたいと思 います。</p> <p>委員 デマンド交通について、色々な地域でやっていますが、連絡して予約 を取ることが手間に感じてしまうため、いまだに家の人を送迎してく れるというのが現状であると思 います。今後時代が進んでいけば、必要性 が出てくると思 いますが、今は中途半端な状況であると思 います。</p> <p>議長 コミュニティサイクルについて安全面はいかがでしょうか。</p> <p>委員 自転車の事故の場合、運転している人がどうだったのかということに なるので、安全面では特に問題があるわけではないと思 います。</p> <p>委員 MaaS や新型輸送サービス等は将来的なことだといわれていますが、 20,30 年先の話ではないということ承知していただきたいと思 います。バス停までの距離が遠いという意見については、既存の交通手段を 使うといった考え方もあります。例えば、ゴルフカートを改造して誘導 線を道路に埋めて、自動運転化していくという社会実験を過疎地域でや っている事例もありますので、既存の技術を使って自動運転にしていく というようなことも考えらます。</p> <p>議長 8 章については、前の章とつながるように検討していただければと思 います。他にいかがでしょうか。</p> <p>委員 P.25 の駅の利用状況について、小田急電鉄は乗降人員で公表している ため、表記している数値は違うと思 いますので、出典を確認していただ きたいと思 います。</p> <p>事務局 確認いたします。</p> <p>議長 ほかに何かありますでしょうか。ないようなので、これで議題 3 を終 わります。それでは最後に事務局から何かございますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(事務局説明)</p> <p>概要：意見書の説明</p> <p>追加のご意見やお気づきの点については後日送付いただきたい。</p> </div> <p>議長 それでは以上で、本日の議題の検討を終了いたします。以後の進行を 事務局にお返しします。</p>
-------------------------------	--

<p>会議の内容 ※会議次第及び発言要旨等</p>	<p>事務局 梶田会長ありがとうございました。それでは最後に「その他」といたしまして、事務局より次回以降の連絡をいたします。</p> <p style="text-align: center;">(事務局説明)</p> <p>概要：次回の会議等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 第3回会議は再度構成した改定原案をもとに12月ごろに書面で協議予定 ② 改定原案の構成 ③ 第4回会議は令和2年3月ごろに開催予定 <p>事務局 何か意見はございますでしょうか。</p> <p>委員 議事録は公開されるのでしょうか。</p> <p>事務局 ホームページで公開されます。</p> <p>他によろしいでしょうか。それではこれにて、本日の検討委員会を終了いたします。会長をはじめ委員の皆様、本日もお忙しい中出席いただき、ありがとうございました。引き続きよろしくお願い致します。</p>
-------------------------------	--